

## 『歯科技工室の集じんシステムを考える』

磯野啓一郎（日技認定講師）

集塵は、我々の健康を守るために不可欠のものである。粉塵は、職場環境を汚すものであり、また、排出する事により近隣の環境をも汚染する事になる。

集塵装置は、歯科技工士にとって最も重要な設備である。有効な集塵装置を備えないで、歯科技工の業務を続けることは、危険な事であり、知らず知らずのうちに呼吸機能に影響を受けている可能性がある。しかし、これまで歯科技工士養成カリキュラムにおいても、特段の教育時間をもうけてこなかったのが実情であり、大変問題であると感じていた。

平成17年3月、厚生労働省通知により「歯科技工所の構造設備基準及び歯科技工所における歯科補綴物等の作成等及び品質管理指針について」が発せられた。これを良い機会としてとらえ、「歯科技工所の構造設備基準」のなかで、集塵を中心としたことがらを、県内いくつかの歯科技工室の実態調査をふまえて、考えてみたいと思う。

- 1、 風量・風圧・風速の関係を知る
- 2、 集じんシステムの要素を考える
  - ① 吸じん口(マウス・フード・ボックス)
  - ② 配管(口径・曲がり・長さ)
  - ③ フィルター(ネット・サイクロン・フィルター)
  - ④ 吸引ファン
- 3、 実践例